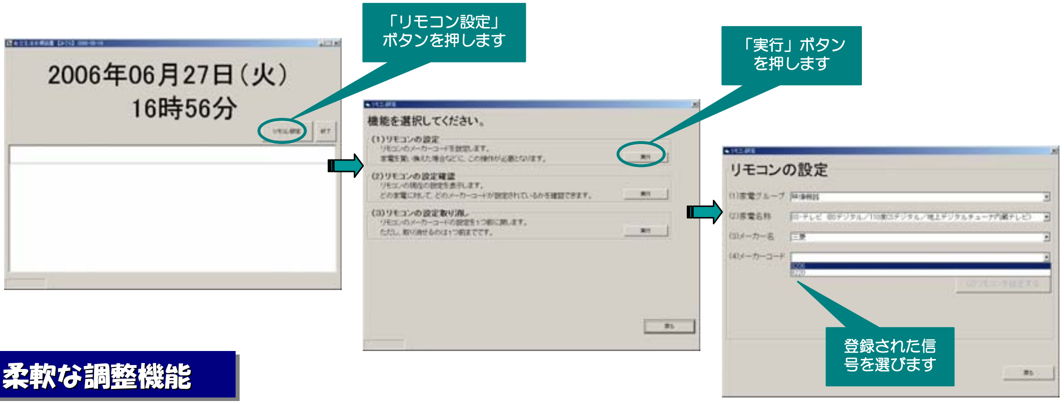
圧倒的なチャンネル数による環境制御機能

●自分でできることが多ければ多いほど、障害者ご本人のプライベートな時間を増やすことができます。
特にエアコンや電動ベッドへの対応が豊富であり、さらに最近のデジタル家電製品へも対応して
いますので、従来品に比べて圧倒的な環境制御機能をご提供いたします。
チャンネル数は1,000以上にもなります。（参考：従来品のチャンネル数は多くても60～80程度）

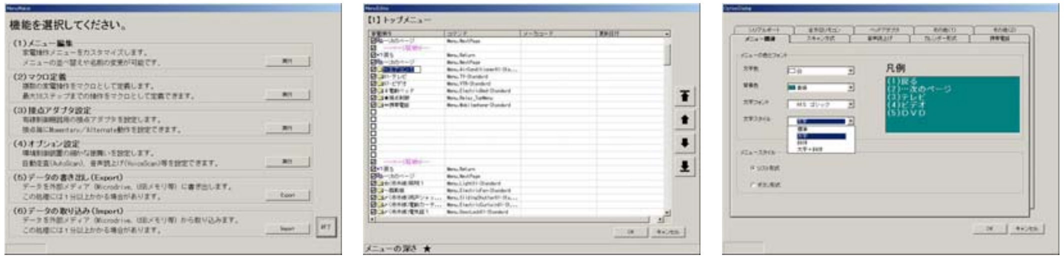
簡単なリモコン設定

●「みてら」には既に4万種類のリモコン信号が登録されています。
今お使いの家電製品を買い換えた場合にも、簡単なリモコン信号の変更ですぐにお使いいただけます。
※登録されたリモコン信号以外のリモコンについても、学習可能です。



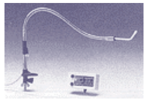
柔軟な調整機能

●「みてら」には利用者の方の利用環境に応じた柔軟な調整機能が準備されています。
例えば・・・
①メニューの並べ替えやメニューの書き換えなど自由にできますので、自分に一番使いやすいメニューになります。
②一連の家電操作を一回のスイッチ操作だけでできるようにするマクロ機能もありますので、面倒な操作も一発！
③調整したデータはバックアップとしてUSBメモリ等の外部に保管しておくことができますので、安心です。
これはほんの一例です。まだまだ使いやすくするための調整機能でいっぱいです。



豊富な操作スイッチ

●タッチパネルからの操作のほか、障害者の残存機能に応じて豊富な入力スイッチに対応しています。
さらに、身体機能に応じて2スイッチ入力方式とオートスキャンの１スイッチ入力方式を選べます。


呼気スイッチ

押しボタン

舌タッチスイッチ

ピエゾニューマティック
センサースイッチ

まばたきスイッチ

●音声スイッチもオプションで準備されています。

介助の質の向上に貢献

●身の回りの生活用具の操作は障害者ご本人でできますので、介助者はより質の高い介助に専念できます。

【効果】
●簡単な介助を頼まなくてもよくなったことで、精神的な負担が軽減された。人間の尊厳であるプライバシーを取り戻すことができた。
●ベッドやエアコンや照明が自分で操作できるようになったことで生活環境が大きく変わった。
●一人でできることが多くなった分、長時間一人で過ごせるようになり、介助者が買い物や頼んだ所用で出かけても不安がなくなった。
●介助者に生活介助と身体介護の両方を介助してもらうには長時間を要するが、細かい動作の自立で時間をうまく使えるようになった。
●ベッド上での時間の使い方が自分のペースでおこなえるようになったので、パソコン作業・テレビ鑑賞・電話対応・ベッド操作による休憩等が自由になった。
●重度障害者には介助が必要である。しかし、介助者にいかに多くの介助を頼んでいるかに気づくことにより、より良い介助生活を送るための見直しができた。介助の質が向上した。

【生活の変化】
●チャンネル操作が確実におこなえる。
モニターを見ながら（視覚による確認）選択すると、操作指令がスピーカーから聞こえる（聴覚による確認）ので操作の確実性がアップ。
●チャンネルがカテゴリ毎に分けられているので、目的のチャンネルに移動しやすい。
●介助者に細かい動作を頼む回数が減った。
●食事介助時のベッド調整
説明を必要としていた細かいポジショニングが、説明を必要とせずに自分のちょうど良い体勢に調整できる。
●体位変換の減少
長時間ベッド上で過ごす際に体位変換が必要となるが、ベッドの背上げ・足上げが自分でできることにより、介助に費やす時間を他の用事に回せるようになる。
●照明点灯の自立
点けたいときに点け、消したいときに消すという“当たり前”のことができるようになる。
●即効性を求めるときのエアコン操作
体温調節が困難なため、室温には即効性が求められる。すぐに暖めたい場合や、暖まったらすぐに消したい場合に、早急に対応できる。

【感想】
●重度障害者が自立生活を送る上で介助は絶対的に必要です。
ただ、一日24時間という限られた時間の中で、時間がかかっても自分でできることは自分でやるということを選択するのか、時間がかかることは介助を受け、それによってできた時間を活動や仕事に充てるのかを自分で考えて選ぶのが“自立”であると私は考えています。その選択の自由を与えるのが「みてら」です。

『みてら』ユーザの声

「みてら」ユーザ
宮野 秀樹氏（兵庫県在住）

宮野さんは兵庫頸髄損傷者連絡会事務局長を務められておりますが、パソコンなどIT機器を強力な武器として精力的な日常生活を過ごしておられます。

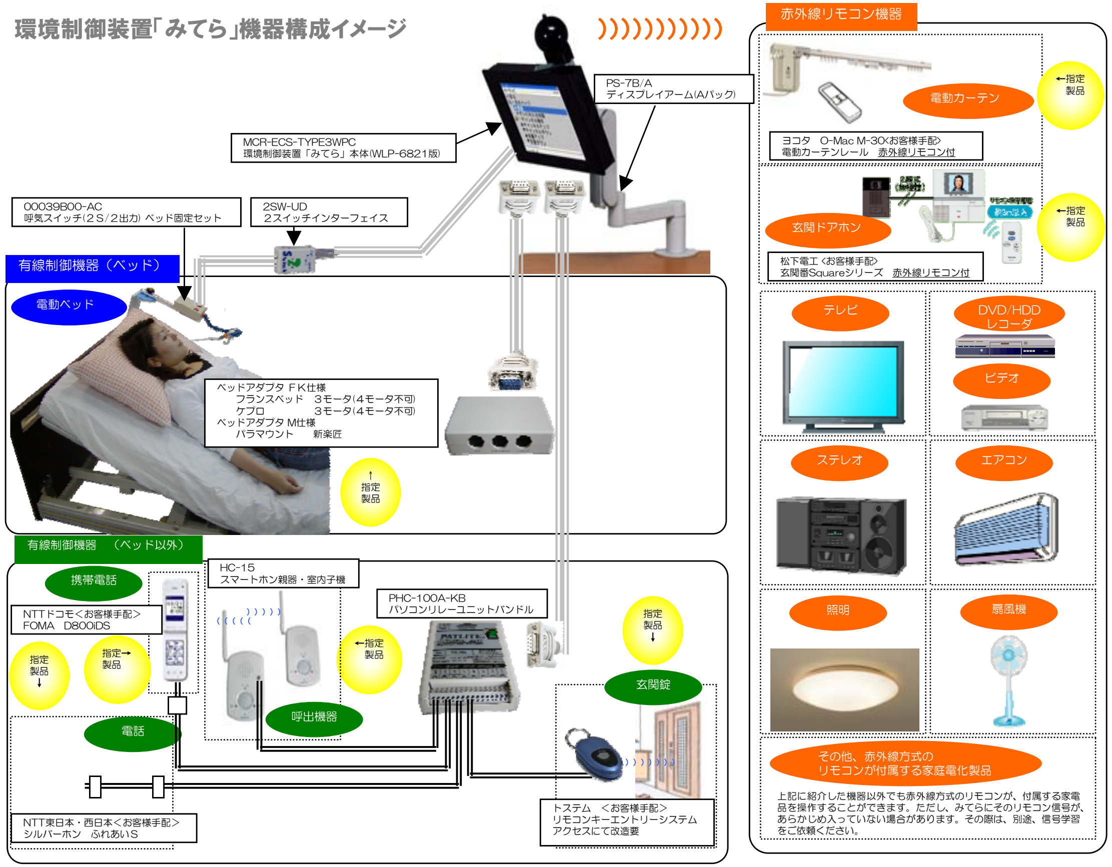
「みてら」

照明
エアコン

テレビ、ステレオ
電話

ベッド

環境制御装置「みてら」機器構成イメージ



●「音声スイッチ」はオプションです。
※お客様の生活環境により音声認識は影響を受けやすいですので、他のスイッチとの併用でお使いください。
※音声スイッチを使われる場合には、併用する他のスイッチ操作の速度が遅くなりますのでご注意ください。

動作環境・仕様について

●専用機一体型「みてら」
OS：Windows XP （仕様については予告なく変更される場合があります。）
「みてら」専用機となりますので、ユーザ様のご利用するアプリケーションを搭載することはできません。
●登録されていないリモコン信号の収集・登録には、販売元やお取扱い店による調整作業が必要です。
※「みてら」は三菱電機コントロールソフトウェア㈱の登録商標です。
※「みてら」の取得した特許は携帯電話やパソコンから操作するWeb機能です。
※Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。
※その他パンフレット中に記載の会社名および製品名は各社の商標あるいは登録商標です。
※本パンフレットの製品仕様は予告なく変更される場合があります。

販売元 ACCESS international
株式会社アクセスインターナショナル

本　社…………………………〒173-0012 東京都板橋区大和町23-3　福井ビル
TEL.(03) 5248-1151　FAX.(03) 3964-9820
大阪支社………………………〒590-0976 大阪府堺市堺区大浜南町1-6-11
TEL.(072) 223-1152　FAX.(072) 223-1154
E-mail: support@accessint.co.jp
http://www.accessint.net/

製造元 MCR
三菱電機コントロールソフトウェア株式会社
MITSUBISHI ELECTRIC CONTROL SOFTWARE CORPORATION

本　社…………………………〒652-0871 兵庫県神戸市兵庫区浜山通6丁目1番2号
ソリューション事業部…………〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島7丁目15番26号 大阪ＹＭビル
TEL.(06)6454-2001　FAX.(06)6454-0580
E-mail: mitera@mcr.co.jp
http://mcr.co.jp/product/fukushi/fukushi.html

本品のうち、戦略物資(又は役務)に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出(又は役務取引)許可が必要です。

安全に関するご注意
●本製品は生命維持に関わる装置および緊急通報装置との連動は避けてください。
●本製品は日本国内で使うことを前提に作られており、日本国外では使用しないでください。
●ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

MCA-C1J085-E

お取り扱いは･･･

2007年11月　発行

ACCESS international　MCR

障害者自身が“当たりまえ”のことを“当たりまえ”にできる。
介助者は、より質の高い介助に専念できる。
私たちはハートフルな社会をめざしています。

重度障害者用

環境制御装置

（特許第3803045号　発明の名称「適応的操作支援装置」）

みてら®

本製品は、2006年度財団法人テクノエイド協会福祉用具研究開発助成事業に採択され、兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所、財団法人新産業創造研究機構、三菱電機コントロールソフトウェア株式会社との共同研究チームにより開発されました。

Changes for the Better
MITSUBISHI